

いきいきとした町づくりをめざして

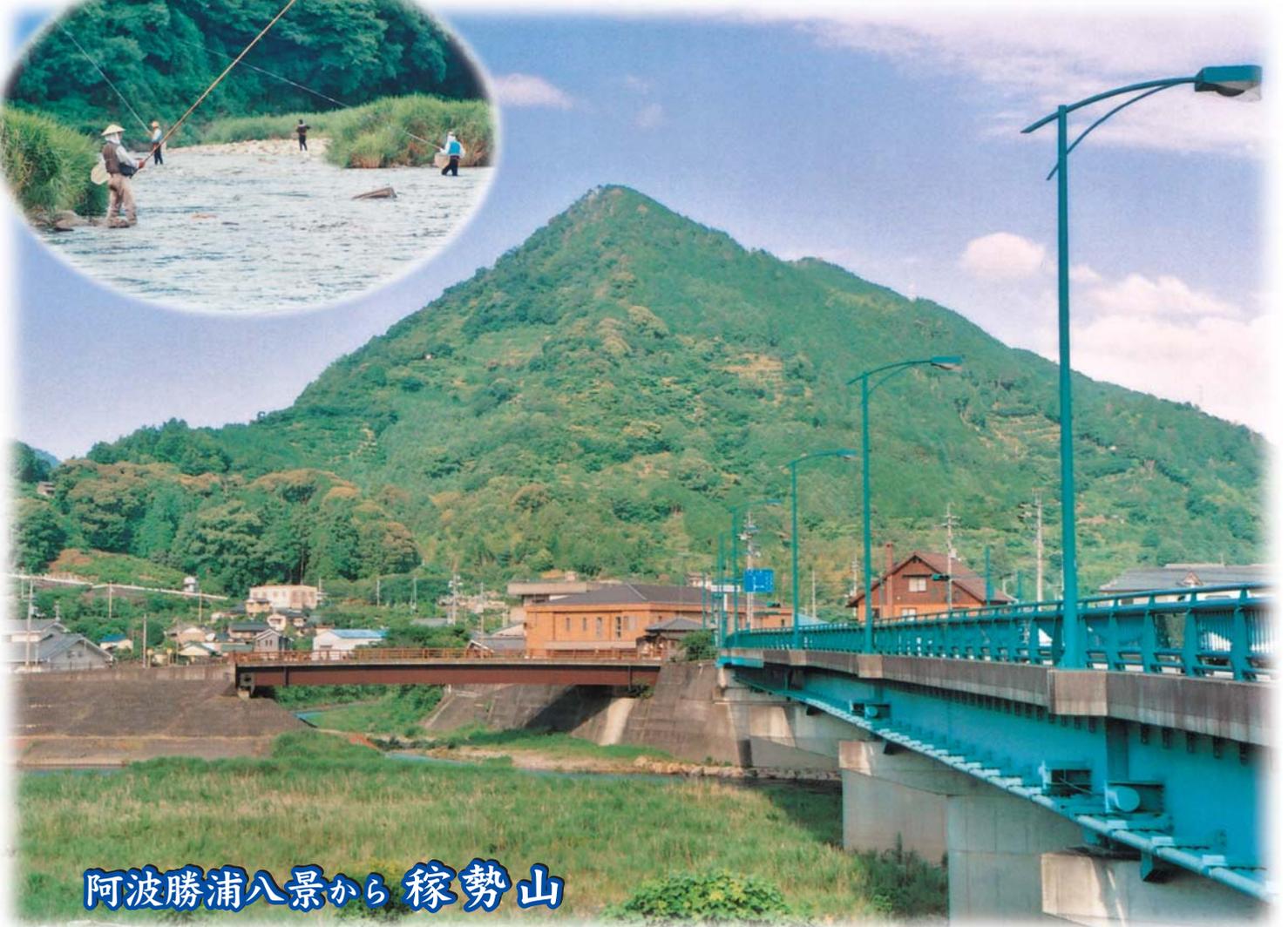
議会だより

からうら

No.44

2008.7.30発行

20年度 補正予算等を可決	②	7 議員 町の考えを問う	⑤ ▶ ⑪
委員会ハイライト	③	はばたけ	
防災シリーズ・検討委員会	④	ちびっ子アスリート	⑫



阿波勝浦八景から 稼勢山

補正予算等 を可決

一般会計

308万円

特別会計

596万円



改修される遊具

6月定例会

＝ 補正の主なもの ＝

一般会計

児童福祉費

(生比奈保育所遊具改修)

296万8千円

特別会計

介護保険

(国庫支出金等過年度分返還金)

554万7千円

六月定例会は、六月十一日から十九日までの九日間開かれ、二十年度一般会計補正予算、議員提出の意見書、介護保険特別会計補正予算などを全員一致で可決しました。

一般質問には七議員が登壇し、町の考えを問いました。

議員提出議案

国による公的森林整備の
推進と国有林野事業の
健全化を求める意見書

(林業・木材関連産業の振興施策の
推進と、国の森林整備予算の確保など)

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣
県選出国會議員ほか

第二回臨時議会

◆議会推せんの農業委員◆

山野議員を選出



七月十四日に臨時議会
が開かれ、議会推せん
の農業委員に山野忠男
議員を選出しました。

総務産建常任委員会

土地開発公社解散も

五月九日、三十日に委員会を開き、勝浦町公の施設の指定管理者の指定や十九年度一般会計繰越明許費繰越計算書などについての説明があり審議しました。また、会計管理者から土地開発公社の経営状況について報告がありました。

文教厚生常任委員会

六月三日に委員会を開き、各担当課から決算状況や条例改正、補正予算などについて説明があり審議しました。

病院事務局長から

病院事業特別会計の十九年度の決算状況について説明があり、病床稼働率は六十七・三%である。三年間連続して七十%を切れば、国の指導で診療所への格下げか、病床数減となる。

問

十九年度に沼江の土地開発公社所有地が「ナカテツ」に売却され、残るは柵野の代行用地のみとなったが、今後の方針は。

答

横瀬橋関連の代行用地なので、地元とも協議し、公社解散も視野に入れ、今年度中に方針を出したい。



勝浦病院の入院病床

問

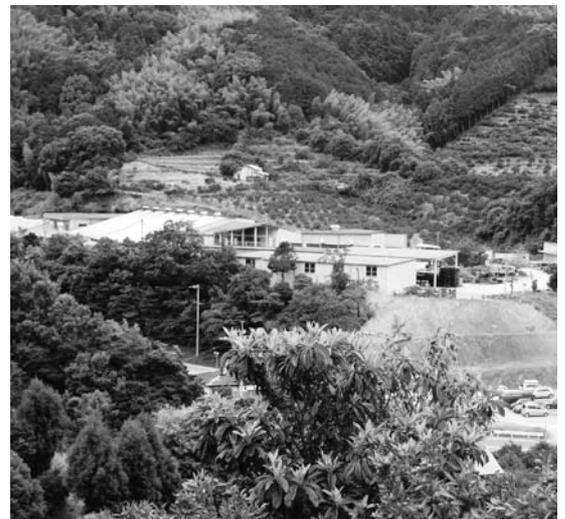
福祉課長から 保育所遊具の改修・修繕と保育所民間移管について説明がありました。

答

遊具の改修・修繕について補正予算の説明があったが、生比奈と横瀬では違うのか。

問

生比奈保育所の遊具は木製で安全基準から劣化が進んでおり改修となった。横瀬保育所は鉄製で耐用年数が長いので、修繕で対応出来るとのことであった。



用地売却完了のナカテツ

東部広域農道整備促進特別委員会

事業推進さらに厳しく

六月五日に委員会を開き、十九年度の事業報告と二十年度の事業計画について説明を受け協議しました。二十年度の予算は九千五百万円（前年比三十七%減）とさらに厳しくなっている。

午後からは期成同盟会、県担当者との合同会議が開催され、県から二十一、二十二年度と予算減額が予想されるとの説明があったが、委員会からは部分的であっても早期供用を求めた。



工事が進む第8工区（中山）



防災シリーズ

区民の安心・安全を守る

『今山自主防災隊』

隊長 立石竹夫

今山自主防災組織は平成十八年に結成され、隊員十八人で組織づくりに着手しました。区を三つの班に分け、区民の安否確認がスムーズに出来るようにしています。
また、半鐘はんしょうの復活や定期的に器具の点検などを行っています。



反省会では色々な意見が

今年の二月十七日には、第六分団と合同で消火栓の点検、婦人会との炊き出し訓練、六月一日には県の防災課、小松島警察署の指導で避難訓練を行いました。終了後の反省会では色々な意見が出され、あらゆる災害に対して対応できるように隊員一同「区民の安心・安全」を合い言葉に頑張っていきたいと思っています。



真剣に避難訓練

将来に向けて 重要施策を検討

**勝浦町立
保育所移管先
法人選定委員会**

保育所の民間移管先の法人を募集したところ、三法人から運営申し込みがありました。

七月二日にプレゼンテーションが行われ、今後、選定委員会で最終決定の後、町長に答申されます。

道の駅検討委員会

七月十六日に第三回検討委員会が開催され、事務局から全体構想案が示されました。案について委員から様々な意見が出され、それを反映した、より具体的な計画が次回示される予定です。



**勝浦町立学校
改築・改修
検討委員会**

六月三十日に第一回検討委員会が開催されました。今後は小・中学校の改築・改修の検討と併せて、「学校のあり方」を議論し、「特色ある学校づくり」の具体的な方向性を決定します。



改築・改修検討委員会がスタート

新しい取り組み

統合補助金とは

区長の意見を聞き

二十一年度実施 (町長)

国清 一治 議員



問

県下全市町村の新年度予算が新聞紙上で公表されたが、本町の行政改革推進や財政状況、県内での位置付け、今後の見通しは。
また、「勝浦町地区活動統合補助金」の取り組み経緯と内容は。

答 総務税務課長

本町の財政は、平成十一年度からの行政改革大綱やその後の集中改革プランにより、人件費や大型事業の抑制による緊縮型予算を継続し一定の成果を上げているが、実質公債費比率が二十三・四％と県下ワーストワンであり、財政指数全般でも県内では下位である。今後、行政改革をさらに進め、二十三年度を目標に財政の改善を図りたい。統合補助金は、国の地方分権推進を受け、住民主体のまちづくりをめざしたもので、地区役員の報酬などを一つに統合し、地区の実情により柔軟に配分する「地

区運営活動補助」と、地区集会所の大規模な改修への支援として「地区集会所維持補修補助」を設けた制度である。

答 町長

統合補助金は、今年度に関区長の意見を聞き、来年度から実施したい。

ごみ半減で 二千五百万円 の削減に

周知徹底し 積極的に推進 (町長)

問

町内各地区に「ごみ分別ステーション」の設置が進み環境は良くなったが、ごみ減量化・資源化は近隣町村に比べ遅れている。町のごみ排出量とリサイクル率は。

また、可燃ごみの処理を十九年度から小松島市に委託しているが、委託前後のごみ排出量とその経費は。
今後、「ごみ減量化戦略」を立て積極的に取り組むことで二千五百万円くらいの

削減になるのではないか。

答 住民課長

本町一人当たりごみ排出量は約七百四十五gで、リサイクル率は二十六・六％である。可燃ごみの排出量は十八年度が一千二百八十四t、十九年度は一千三十六tで、



豊岡住民課長

答 町長

委託料は四千六百六十一万円である。ごみ減量化については「分別ステーション」を設置し「リサイクルプラザ」の活動により成果が出ている。今後、さらに周知徹底し積極的に取り組みたい。

■その他の質問

○奇抜なアイデアでふるさと納税推進



成果が期待されるリサイクルプラザ (横瀬)

「特色ある授業」 の取り組みは

少人数数学級による 授業などを実施 (教育長)

節 公 一 議員



問 授業の充実を図るため「習熟度別授業」やワークショップを取り入れた学習が成果をあげている。

町内の学校では、どのような「特色ある授業」の取り組みがされているのか。また、課外授業の一環として交響楽団やアカペラのコンサートの催しで子供た

ちが大きな感動を受けている。今後このような企画を増やすべきでないか。

答 教育長

現在、小、中学校では少人数数学級による授業を取り入れ、算数、数学で好成績をあげている。

また、小学校では複数の先生による手話教室や特別支援学習を実施し、中学校では町内の職場体験学習なども行っている。



稲井教育長

答 町長

本物の音楽を体験することは生徒の将来に大きな影響を与えるので、今後も機会を増やして行きたい。

学校の耐震工事を 急ぐべきでは

問

中国の大地震を受けて「地震防災対策特別措置法」が成立し、耐震工事の補助率がアップした。耐震化を急ぐべきではないか。

答 町長

新しく学校の「改築・改修検討委員会」が発足した。緊急性は認識しており、委員会の議論を参考に検討したい。

後期高齢者医療制度 問題点の対応は

問

この制度は四月からスタートしたが、勝浦町でも誤徴収などのトラブルが起きている。今後も当事者が不利益になる事

答 総務税務課長

この制度の届出、申請は総務税務課を窓口として対応して行く。内容により広域連合、社会保険事務所と態が予想されるが、町ですべて対応出来るのか。また、健康診査の対象者拡大のため、広域連合議会ですらで早急に検討すべきではないか。

答 町長

健康診査の希望者が多いので、現在、事務レベルで検討している。広域連合議会に提案されれば実施に向けて努力して行く。

その他の質問

○ふるさと納税について



耐震化が急がれる横瀬小学校

果樹・野菜の 残留農薬検査の徹底を

販売先や消費者の
信頼確保を重視
(産業建設課長)

山野忠男議員



答 産業建設課長

食の安全については県の指導を受け、JAでは毎年スタチや野菜のサンプル検査を行っている。町も営農講座等で農薬の適正使用の指導を行い、販売先や消費者の信頼確保を図っている。

答 教育委員会事務局長

学校給食として、食の安全の重要性からJAに栽培履歴を求めているが、提出されていない。

また、残留農薬の検査には立ち会ったことはないが、今後とも食の安全に心がけて行きたい。

問 全国的に中国の冷凍ギョーザ問題が騒がれ、未解決のままになっている。
本町の学校給食では七割は地元産で賄っているが、野菜以外の加工食品や冷凍食品を含め、残留農薬の検査などに立ち会ったことがあるのか。

後期高齢者医療制度 見直し軽減策は

広報で周知徹底する
(総務税務課長)

問

後期高齢者医療の二回目の年金からの引き落としが六月十三日であったが、問題はなかったのか。

今後、制度の見直しや保険料の軽減策などを高齢者に周知徹底すべきでは。

答 総務税務課長

現在、保険料徴収に大きな問題は発生していない。今後、保険料の見直しや軽減措置については、広報で周知徹底したい。



伊丹総務税務課長

大幅に遅れている 町道改良

五千万円の町道改良
予算を計上
(町長)

問

町道の整備は全町的に大幅に遅れている。今年度、区長から要望された改良工事は施工中を含め何力所あるのか。

また、工事の優先順位と二十年度の見通しは。

答 産業建設課長

交通安全施設が十三カ所。改良工事が四十一カ所。舗装が二十五カ所。側溝が二カ所となっている。

今後のスケジュールは、六月下旬から七月に現地踏査を行い、危険度・利用度を勘案して、優先度の高いところから施行したい。

答 町長

今年度は、五千万円の予算を計上している。私も現地踏査を行い優先順位を判断したい。



側溝整備要望箇所 (与川内)

「道の駅」構想は

町づくりの
中心に位置付け
(町長)

井出美智子議員



問 厳しい町財政のなか「道の駅」構想が出ていますが、赤字にならない経営が出来るのか。建物ありきでなく、町づくりの理念の中での位置付けをしっかりと検討し、議論してから取り組むべきでは。また、運営主体はどこになるのか。

答 副町長

道の駅検討委員会を

中心に二十年度に取りまとめ、二十一年度着工をめざしている。

運営主体は、どのような施設を整備するかによってかわり、全体構想が固まった後、関係者等と協議をして行く。

答 町長

町づくりの全体構想の中

心として位置付け、しっかりと議論し、取り組んで行きたい。



給食費の保護者負担の軽減を

問

県内の小中学校で、給食費を値上げする動きが広がっている。保護者負担が出来るだけ軽減して、地産地消のおいしい給食を守り抜いてほしい。また、神山町のように町が補助してはどうか。

答

教育委員会事務局長

燃料費、食材費の高騰で昨年度はデザート等で調整



地産地消のおいしい給食



谷添教育委員会事務局長

し、値上げすることがないように努力してきたが、さらに燃料、食材等の値上げが続いているので、給食費の値上げも検討せざるを得ない。

答 町長

給食運営委員会の協議を参考に対応を検討する。

高額な不妊治療費への支援を

問

県内では少子化対策の一環として、阿南市と三好市で不妊治療に助成金を出している。町も取り組んではどうか。

答 町長

対象者や要件等を十分研究したい。

保育所民営化サービスを保障できるのか

問

先に民営化している小松島市議会でも様々な議論がされている。民営化してしまうと監督権限は町にあるが、経営や人事、施設整備等が社会福祉法人の権限となる。質の良いサービスが提供される保障はあるのか。

答 副町長

民間移管後も保育料や入所決定などは従来どおり町が決定し、補助金の交付を通じて深く関与したい。

後期高齢者医療制度

広域連合議会で廃止を

理解と協力を求めて対応（町長）

森本 守議員



また、七十五歳での線引きにより心を痛めている。「病は気から」と言うが、この制度は気を弱らせ、かえって病気になるりやすくなる制度である。

この線引きが一番大きな問題で、この根本が変わらない限り町長は広域連合議会で廃止の態度を取るべきではないか。

また、六十五歳から七十四歳までの重度障害者は何人いて、どう対処しているのか。

答 町長

この制度は高齢化社会に対応した仕組みで、現役世代と高齢者世代の負担を明確にすることで、七十五歳以上のすべての人を対象に

問 四月から実施されている後期高齢者医療制度は、参議院で廃止法案が可決された。核家族化などにより老人のみの年金生活者の中には一日千円ほどで生活し、病気になるっても医者にかからない人がいる。そのうえ、年金から天引きされ多くの人が不満を募らせている。

している。運用にあたり、私も広域連合議会で制度の周知徹底、減免などについて質問している。国においても見直しがされており、町としても制度の理解と協力を求めて対応して行く。



中田町長

答 総務税務課長

重度障害者は四十二人で、医療費助成は従来どおりである。

団塊世代の受け入れ

問

団塊世代の受け入れ対策として、空き家や農地のあつ旋、インターネットなどによるPR、

答 産業建設課長

十九年度に県および県観光協会、ふれあいの里さかもと、井戸端塾の協力を得て団塊の世代を対象としたロングステイ事業に取り組み、県外から四十一人の参加があった。ふれあいの里さかもとに「勝浦町移住交流支援センター」を設けており、今後もこの事業に取り組んで行く。

PRについてはインターネットや大阪および東京の県事務所のパンフレットに掲載し周知して行きたい。

■その他の質問

○ケーブルテレビ料金について



「勝浦町移住交流支援センター」が設置されているふれあいの里



沼江バイパス 作業の進ちよく状況は

予定通り進んでいる

(産業建設課長)

森 健 議員



問 地域関係者との協議等作業スケジュールは予定通り進んでいるのか。

また、県の道路財源の確保が不安視されているが心配ないか。

答 産業建設課長

六月上旬に県から用地補償価格算出の報告を受け、

地元推進委員と協議を行い、現在、町と委員で地権者に協力の依頼を行っている。六月二十三日には県と関係者の会を開き、用地交渉等のスケジュールの説明や協議を行い、七月ごろから県と町による地権者との補償交渉を行う予定だ。

また、年度当初には道路特定財源をめぐり国の予算分配等の遅れが心配されたが、現在は、ほぼ予定どおり進んでいる。



倉坪産業建設課長

米製粉機の 設置と米粉食品 の研究推進を

問

安全・安心の食品づくりや米の消費拡大、小麦粉高騰による関連食品の値上がりに対する防衛策として、米製粉機を農村環境改善センターや農村婦人の家に設置してはどうか。



改善センターに設置されている製粉機

答 産業建設課長

米の消費は昭和三十七年がピークとなり、平成十八年には半分になっている。

農水省においても米の需要拡大策として、米粉の普及推進をしている。現在、小型の製粉機は改善センターと婦人の家にあるが、利用者が減少しており、今後アンケート調査など検討して行きたい。

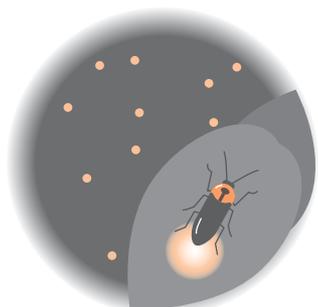
「定住自立圏構想」に対する町長の考えは

問

総務省の有識者による研究会が人口五万人以上の中心市を核とした「定住自立圏構想」の報告書をまとめているが、周辺小規模町としての町長の考えは。

答 町長

今のところ財源等の裏付けも不透明で、中心の市だけが強化され、そのしわ寄せが周辺町村に及ぶなら敬遠せざるを得ない。この構想が成熟し協議に移れるようになった時点で対応して行きたい。



大地震で何を学んだか

中山間地対策を要望(町長)

西浜勝己議員



問

中国四川省大地震や、岩手宮城内陸地震の被災地では、最大級の地すべりが起こって道路は寸断され、公共建物の崩壊で日を追うごとに死者や行方不明者が増えていく。国や県は海岸線対策にのみ目を向けているが、「改正地震防災対策特別措置法」では新たな対策が講じられるのか。

答 町長

本町には急しゅんな地形の箇所もあり、山腹崩壊が予想されるので、早急に対応しなければならぬと考えている。県では津波対策のことがよく言われているが、今度の災害を教訓に中山間内陸部対策を重視するよう要望して行きたい。

答 教育長

また、町はどのような取り組みをして行くのか。耐震補強の国庫補助率が二分の一から三分の二に、改築については三分の一が二分の一に改正された。今後、公立学校改築・改修検討委員会を早い時期に開催したい。

「道の駅」「保育所」 中間報告を

委員会で検討中
(副町長)

問

道の駅検討委員会
の中間報告と、運営
主体は。

答 副町長

また、保育所移管先法人
選定委員会の中間報告を。
道の駅検
討委員会は
二回開催した。運営の主体
は町と県であり、関係団体
は商工会とJAである。全
体構想はまだ決まっていな
いが、経費はできるだけ少
なくしたい。
保育所民営化は現在、三
法人と協議中であり、最終
的には選定委員会の答申を
受け決定するが、一法人に
よる複数経営もありうる。

今、なぜ 給食費値上げか

給食運営委員会
で検討
(町長)

問

当初予算時には、
給食費値上げ問題に
は触れなかった。今、なぜ
給食費値上げか。

答 町長

二十年度の
給食運営委員
会で検討することになるが、
値上げの場合でも町費の負
担はしない。

勝浦高校再編計画は 寮の改築がぜひ必要

(教育長)

問

勝浦高校の再編で、
今後どのような取り
組みが必要か。

答 教育長

勝浦高校
と小松島西
高校、県教委、勝浦高校教
育振興会、地元関係機関と
連携し、施設整備で寮・体
育館・武道館の改修・改築
等を要望したい。



折野副町長



改築が急がれる「たちばな寮」

はばだけ！ ちびっ子アスリート

生比奈少年野球クラブ

今回紹介するアスリートは、生比奈小学校の「生比奈少年野球クラブ」です。過去に何度も県代表になるなど、県下でも伝統のあるチームです。「心で勝て、次に技で勝て。ゆえに練習は実践、実践は練習」をモットーに、17人の部員が櫻野達也主将を中心に練習に励んでいます。チームのみんなにアンケートを行いました。

●キャプテンのことは●



櫻野 達也 主将

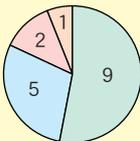
大きな声を出し、
全員野球で一生涯懸命
プレーします。

Q1 野球は好きですか？



■はい ■いいえ

Q2 好きなプロ野球チームは？



■阪神 ■中日
■巨人 ■ヤクルト

Q3 好きなプロ野球選手は？



■赤星(阪神) ■新井(阪神)
■金本(阪神) ■荒木(中日)
■阿部(巨人) ■青木(ヤクルト)
■岩田(阪神) ■いない
■ラミレス(巨人)

Q4 やってみたい守備位置は？



■ピッチャー ■セカンド
■キャッチャー ■サード
■ファースト ■センター



～メンバー紹介～

6年	櫻野達也	5年	中山裕斗	4年	松本健吾	2年	阿部達樹
5年	原田聖也	"	引地智紀	"	桃本一輝	"	尾山龍輝
"	勝本鷹幸	"	増田晃平	3年	西尾優汰	1年	西尾駿汰
"	立石琢視	4年	阿部智樹	"	湊 大樹	"	湊 勇大
"	林 大成						

練習日時

◎毎週 火・水・金・土曜日

◎生比奈小学校グラウンドで17時から19時30分まで
土日祝日は試合が入るときもあります。

※練習見学や体験入部は随時受け付けています。【連絡先】櫻野 ☎42-4425



先日、大川原高原にある風力発電施設を全議員で視察した。十五基の巨大な風車が設置され、十月からの運転開始に向け工事が進んでいる。温暖化対策としてのクリーンエネルギー普及に期待したい。

地球環境を守るのは全世界が一丸となって進んで行かなければならない最大の課題であると感じた。(雅)

編集後記

七月七日からG8サミットが洞爺湖で開かれ、地球温暖化対策を中心に議論されたが、具体的な数値すら盛り込まれず、新興国は経済成長の持続を優先し、改めて溝の深さを浮き彫りにして閉幕した。

南の島ツバルでは海水面の上昇で大きな被害が出ている。北極では氷が溶けてシロクマの絶滅が心配される。